

広報

ふじかわ



10月号

●平成元年10月5日発行 No.339

町のメモ

平成元年10月1日現在	
人口	17,379人
増減	+23人
男	8,561人
女	8,818人
世帯数	4,612世帯
面積	31.09km ²

富士川町 企画調整課 ☎81-1111
〒421-33 富士川町岩渕 121



もっと強く もっとひっぱれ
(第2幼稚園運動会)

町のこししの目標 「健康な心とからだで住みよい町に」

健全です、町の家計簿

ここにお知らせするのは、昭和63年度の決算です。みなさんのご協力により、一年間、ぶじに過ぎました。私たちの納めた税金はどのように使われたのでしょうか。

昭和六十三年度は、第二次総合計画の『緑と碧と光のまちづくり』の実現に向けて、様々な事業が進められました。私たちの生活と最もかかわりの深い一般会計での歳入は、町税が六十二年と比べ二・四％伸び、四千五百八十八万円の増収となりました。この中には、みなさんや事業所から納められる町税が最も多く、歳入全体の約半分（五五・二％）を占め、町民一人あたり九万九千二百八十八円の税金を納めていることとなります。

また、町の財政力を示す自主財源の収入総額に対する比率は、六九・三％で、前年度と同じ数字になっています。歳出では、第一小学校体育館の改修工事や体育施設建設基金積立金などに使われた教育費が、全体の一九・五％を占めました。また、私たちの健康づくりの拠点となる保健センター建設などの衛生費が十八・九％になりました。これからも、住み良い町づくりのために、みなさんのご協力をお願いします。



新しい保健センターで健康体操に汗を流します

九月定例会

町議会の9月定例会が9月21日午前9時から4日間の会期で開かれました。この議会では、教育委員会委員の任命の同意、補正予算や昭和63年度決算認定など、9件が慎重に審議され、25日にはすべて原案どおり可決されました。

七十歳以上の方が町の人口の八・三五％

高齢化社会は確実に進展し、その施策も着実に推進していくかなければなりません。九月十二日に行いました敬老会出席該当者は、千四百四十九人（七十歳以上）で、町人口の八・三五％を占め、県下でも六十五歳以上の老人は全人口の一・五％と、過去最高の割合を占めています。このように、長寿者も増えつつあり、当町でも百歳に到達された方が三名あり、町民のみなさんと共に「いつまでもお元気で」と長寿をお祝いしたいと思います。

生涯教育の充実と文化活動の振興

生涯教育の充実や文化活動の振興も重要な施策の一つです。ライフワークの中で常に学び、人と交わることは大切なことであります。十月四日から二十四日まで、「県立大学特別公開講座」が開かれ

ます。県立大学の教授を講師に、三講座各十回にわたって開かれます。

すでに受講生を募集したところ、予定した人数で一杯となり、この講座が大学と地域との結びつきや、町の文化向上に役立てればと期待しています。

東名富士川インターチェンジにむけて

東名富士川身延線バイパスの建設促進、新富士川橋建設促進、町民生活に大きな影響を及ぼす道路網整備、多極分散型の国土づくりにおけるゾーン重点整備地域への指定を目指す、それぞれ対処しています。

これらの事業との関連性や二十一世紀の展望にたち、庵原三町・芝川町・山梨県峡南三町により、広域的見地から東名富士川インターチェンジ建設促進期成同盟会を発足するため、設立準備担当者会議を先般開き、規約や今後の会の進め方などを協議しました。

町民一人あたりに換算すると

人口 17,230人
世帯 4,446世帯
(平成元年度 3月31日現在)

使われたお金 189,174円



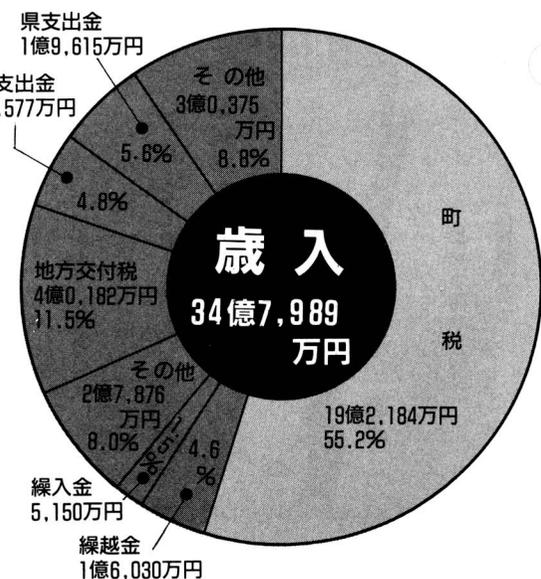
納めた町税 (法人税・交付金は除く) 99,218円

住みよい町づくりのため

ご協力をお願いします

一般会計決算の構成

自主財源(69.3%) 依存財源(30.7%)



教育費	6億3,647万円
衛生費	6億1,515万円
総務費	4億6,551万円
土木費	4億4,921万円
農林水産業費	4億0,082万円
民生費	2億5,422万円
消防費	1億9,605万円
その他	2億4,204万円
歳出	32億5,947万円

可決された提出議案

- 教育委員会委員の任命につき、同意を求めること
- 町の教育委員会委員に石川文彦氏（仮下町）が再任されました。
- 富士川町表彰条例に基づく表彰者の同意を求めること
- 平成元年度富士川町一般会計補正予算
- 土木費、総務費などを中心に九千六百八十五万円を補正し、一般会計予算は三十八億九千四百万円になりました。
- 平成元年度富士川町土地取得特別会計補正予算
- 昭和六十三年度富士川町一般会計歳入歳出決算
- 昭和六十三年度富士川町歳入決算額三十四億七千九百八十九万円、歳出決算額三十二億五千九百四十七万円、繰越明許費が二千万円で、実質収支額は二億四十二万円となりました。
- 昭和六十三年度富士川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 昭和六十三年度富士川町土地取得特別会計歳入歳出決算
- 昭和六十三年度富士川町老人保健特別会計歳入歳出決算
- 昭和六十三年度富士川町水道事業会計決算

総合体育施設のマスタープランを

第二次総合計画の基幹事業である「総合体育施設」の建設に向けて、それぞれの立場で検討をお願いします。現在、「総合体育施設マスタープラン」を業務委託し、計画実施にむけて対応しているところです。なお、主要施設となる「総合体育館」の建設工を平成三年度のタイムスケジュールとしていく予定です。

第五十八回敬老会

元気な笑顔がいっぱい

七十歳以上のお年寄りの長寿と健康をお祝いする『第五十八回敬老会』が、九月十二日、中央公民館ホールで開かれました。

当日は午前と午後の二部に分かれ、町内の七十歳以上の千四百五十人のお年寄りが招待され、常葉雅文町長などからお祝いのことばや記念品、敬老金などが贈られました。

式典に続いて敬老演芸大会に移り、漫才や漫談、浪曲などで楽しいひとときを過ごし、会場はお年寄りの元気な笑顔でいっぱいでした。



演芸大会での楽しいひととき

人材センター『シルバー富士川』

高齢者の
能力を
生かします

高齢者の労働能力開発と生きがい対策として発足した人材センター・シルバー富士川は、十月で二年半になります。現在、会員は五十歳から七十四歳までの四十一人で、仕事の依頼件数は月平均で三十件を超え、順調に運営されています。

このセンターのシステムは、会員が希望する仕事の内容を登録し、仕事の依頼を受けた事務局がそれぞれの能力や体力にあった会員に連絡し、仕事をします。仕事の内容は園芸、大工、塗装、草刈りなど。依頼先は家庭企業、役場、公共施設などいろいろです。

同センターで頑張ってみたいと思う方は、ご連絡ください。

シルバー富士川事務局
☎ ① 一一一九一

お互いの気持ちを尊重して、仲よく仕事をやっています。毎日、送り迎えをしてくれ、広い所で仕事をするので気持ちがよく、腰が少しぐらいいつも直つてしまふ。体が続き限り続けていきます。



天野とよ子さん(南町一) 60歳

佐野くわ子さん(南町一) 72歳

体が動くうちは、ここで働こうと思っています。一カ月に平均十五日ぐらい出勤し、ここに来て、知り合いが多くて、いろんな仲間が増えて、たいへん楽しいです。会員が増えればと思っていますので、ぜひ、いっしょにやりましょう。



加藤福太郎さん(新町本町) 70歳

統計スポット

高齢化率

12.6%

昭和60年の国勢調査では、町の65歳以上の人口は1,902人で、総人口16,728人に対する比率は11.37%。この高齢化率は県平均の10.6%より高い数値となっています。

さらに、平成10年度には高齢化率が15.7%になると見込まれており、6人に1人が65歳以上という社会の到来も間近です。

12.6%という数字は、平成元年4月1日現在の高齢化率を表わしたものです。

すでに始まっている高齢化社会。このことは、私たち一人ひとりの大きな課題となっています。その中で、イキイキとした生活を送れる環境を整備するために、町では高齢化対策事業基金条例を制定しました。

平成元年4月1日の高齢化率

自治体	高齢化率
富士川町	12.6%
蒲原町	14.2%
由比町	15.9%
静岡県	11.5%
全国	11.6%



これからも長生きしてくださいね

平成元年度場所 長寿番付表

平成元年9月1日現在



清さん



小林さん

祝長寿											
東					西						
横綱	清兼次郎	(清水町)	100	横綱	小林きう	(相生町)	100	前頭	望月コスミ	(相生町)	91
大関	望月春吉	(上町)	97	大関	田村なか	(本通一)	99	浦田	つや	(宮町)	91
関脇	小永井つね	(川坂)	94	関脇	角替きわ	(木島)	94	小林	しげ	(鍵穴)	91
小結	花田きよ	(舟山町)	93	小結	佐野とめ	(大代)	94	望月	きあ	(上町)	90
前頭	芦川ふか	(坂下)	93	前頭	池谷きく	(上町)	93	太田	定吉	(舟山町)	90
前頭	佐野きよ	(清水町)	93	前頭	榎本横之助	(相生町)	92	久保田	ふさ	(宮町)	90
前頭	堀澤さく	(堺町)	92	前頭	久保田てふ	(堺町)	92	清	なみ	(本通一)	90
前頭	吉田宇三郎	(四十九町)	92	前頭	望月とき	(東町一)	92	佐野	文蔵	(富士松野)	90
前頭	植松いま	(小山)	91	前頭	望月とき	(東町一)	92	田中	武雄	(清水町)	90

百歳山町

斉藤県知事が 百歳の清兼二郎さんを訪問

九月十五日(敬老の日)に今年で百歳を迎えた清兼二郎さん(大北町)のお宅を、斉藤県知事が訪れ、長寿をお祝いしました。

お祝いに駆け付けた親戚や孫たちが見守るなか、長男の市郎さんが家族を紹介。「私も清さんの長寿にあやかりたい」と知事が話すと、「いろいろお世話になります」としつかりした口調で答えました。

知事から、内閣総理大臣からの祝い状と県知事名の寿詞や記念品、常葉雅文町長から花束が渡されると、詰めかけ

た大勢の人たちから、お祝いの拍手が鳴り、記念撮影をして、知事の訪問は終わりました。

兼次郎さんは、明治二十二年五月三十日生まれで、子と孫、ひ孫あわせて全員で十四人。現在も家の人といっしょに畑仕事に同行して、たまには草取りを手伝ったりします。

生涯学習して頂けますか

今公民館では

絵画教室

絵画教室は、五月二十四日開講、十回の講座で、講師は『池谷佐和子』先生です。現在二十代から七十代までの受講生十七名が毎回楽しく学び、文化祭にむけての作品づくりに取り組んでいます。



楽しく学習しています。—文化祭にも出品だ—

◎上町の主婦「主婦が外に出ることは、家族の協力がないと出来ないもの。下の子供が高校生になったら絵を勉強しようと思っていた夢が実現でき、本当に幸せなことと感謝しています。」

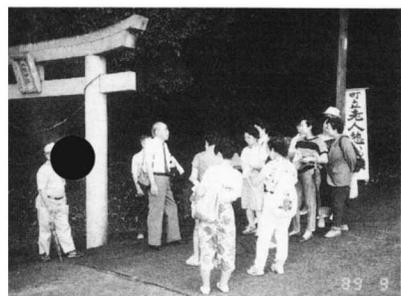
◎二十代の女性「堅苦しくなく、好きな絵が勉強でき、うれしく思っています。」

◎四十代の主婦「絵を描きながら皆さんと話をすること、仲間の絵を見て学んだり、先生のアドバイスを聞いてなるほどと感心したり、描くことに「生きがい」を感じます。」

富士川紀行

町内のふるさとを知るには、まず歴史を知ることから始まります。

三回に分けて実施しました。後期は、十月中之郷地区文化財めぐり、十一月同先生の一年間の学習をおとした講演、十二月浜松市博物館見学が予定されています。



◎町の古代を
発掘してみませんか
町内には、縄文時代から弥生・古墳・中世と、たくさんの遺跡があります。これらの貴重な遺跡は、道路や住宅などを造る場合には必ず発掘調査をしなければなりません。そのため、町では毎年調査を行っています。

みなさんの中で、この調査に長期間(約二〜三ヶ月)参加したいと思う方は、氏名・年齢(六十歳以上)・住所を教育課に連絡ください。

今月号では、軽スポーツの中の『バウンドテニス』を紹介しします。

運動不足解消のためのスポーツを長続きさせるには、大勢で楽しくワイワイやるのがコツです。テニスと同様のルールで、狭い場所でも手軽にできて運動量もあるスポーツとして、『バウンドテニス』はいかがですか。

現在、テニスが空前のブームとなつていますが、どの地域でも施設が不足している状態です。やっとコートを見つけても長く待たされたり、会員制だったり、思うようできないのが実情です。そこで、いつでも、どこでも、

誰でも楽しめる健康スポーツとして、『バウンドテニス』が考案されました。

軽スポーツ紹介 — バウンドテニス —

基本的なルールはテニスと同じですが、テニスコートの六分の一の空間でプレーできるところが大きな特色があります。わかりやすい例えば、テニスの「ミニ版」ですが、空地駐車場、公園と場所を選ばず即座にプレーゾーンをつくることができます。コートの大

きさは巾三メートル、長さ十メートルの長方形で、ネットは中央に張り、高さは五十センチメートルです。ラケット、ボールともテニス用より小さいものを使用するため、硬式テニスよりもはるかになじみやすく、チビッ子から老人まで、誰でも気軽にプレーできるのも魅力のひとつです。シングルスとダブルスは二人、ダブルス



は四人で行ないます。このスポーツは、全国各地の学校や地域で行われています。あなたもチャレンジしてみませんか。

社会教育主事誕生



芦川恒男さん

高齢化社会の到来が言われ、生涯学習への取り組みの必要性が叫ばれています。教育委員会の芦川恒男さん

は、『社会教育主事』の講習を受け、その資格を得ることができました。

現在、学校教育の担当ですが、社会教育面においても幅広い視野をもって、皆さんのよきアドバイザーになるものと期待されます。

三二情報

◎縄文土器を作る

富士川町には、木島遺跡をはじめとして、縄文時代の遺跡から、住居跡とか土器などがたくさん発見されています。少年少女ふるさと教室ではこのような縄文時代の文化を伝えるため、昔ながらの方法で、毎年「縄文土器づくり」を実施しています。

今回の土器づくりは10月22日(日)野焼きを11月5日(雨)天・12日(日)、役場駐車場で行います。興味のある方はご参加下さい。——一般の方の参加料は、五百円です。

◎町の古代を

発掘してみませんか
町内には、縄文時代から弥生・古墳・中世と、たくさんの遺跡があります。これらの貴重な遺跡は、道路や住宅などを造る場合には必ず発掘調査をしなければなりません。そのため、町では毎年調査を行っています。

みなさんの中で、この調査に長期間(約二〜三ヶ月)参加したいと思う方は、氏名・年齢(六十歳以上)・住所を教育課に連絡ください。

◎図書室から
本には皆さんの知識が詰まっています。本を読むことにより、心を豊かに、知識を豊富にし、いろいろな経験や発見をすることができます。

読書は、いつでも、どこでも、気軽にできる生涯学習といえます。

10月27日から11月9日まで読書週間が実施されます。この機会に、みなさんの読書について考えてみましょう。

※文化祭展示室となるため、10月23日(月)から11月4日(土)まで図書室を休室いたします。



10月~11月の予定

- (10月)
 - 13日(金) 軽スポーツ〔グランドゴルフ〕普及講習会 (富士川地区)
 - 14日(土) 文学講座 秋の野草観察 (松野地区ふるさと教室)
 - 17日(火) 庵原郡小学生陸上記録会
 - 18日(水) 絵画教室
 - 20日(金) 「まきの木」全体学習 軽スポーツ〔グランドゴルフ〕普及講習会 (松野地区)
 - 22日(日) 文化講演会 (講師・齊藤仁) 縄文土器づくり (松野地区ふるさと教室) 各区対抗町民ソフトボール大会 秋季混合バレーボール大会 郡ゲートボール大会 松野地域の史跡を訪ねて (二小家庭教育学級) 三世代交流グランドゴルフ大会
 - 28日(土)
 - 29日(日)
- (11月)
 - 1~3日 町民文化祭
 - 5日(日) 富士川紀行 (岩渕の文化財) 縄文土器一野焼き (松野地区ふるさと教室) 合唱コンクール (一・二中) 女性ジャーナル (二小家庭教育学級)
 - 9日(木) 軽スポーツ〔トリムバレー〕普及講習会 (富士川地区) 静岡県読書大会
 - 12日(日) 鈴木杯争奪剣道大会
 - 14日(火) 幼・小・中 郡音楽発表会 硬式テニス教室 (毎週土曜日)

アメリカでのホームステイを体験して



望月容子さん(八幡町) 庵原高校2年生

私も民間 外交官 国際交流

私が訪れたシエルビービルは、蒲原町と姉妹都市提携の話があり、私たちの町より田舎で緑が多く、NYのように人々はせこせこしていませんでした。私の見た限りでは、どの家も造りがかわいいし、家の周りに生えている一面の芝生は、手入れがいきとどいて、すばらしいものでした。隣りの家との境には馬が放し飼いされ、庭が広く、のどかで環境の面では、申し分のない所でした。一言わせてもらえば、お店が近くにないので、車は必需品だということ。車といえば日産・トヨタ・カワサキなど、ほとんどが日本車で、びっくりしてしまいました。アメリカでも日本の機械製品が認められていることが充分わかりました。アメリカでは十六歳になると車の免許証がとれます。ですから高校生は、ほとんど車通学。十七

歳のホストシスターは毎晩、車での夜の十一時頃まで遊び回り、私も一回だけ、いっしょに行きました。が、疲れてしまいました。私たちが日本の高校生は門限とかが厳しく、少しでも遅く帰れば親が心配しますが、向こうでは親もあまり心配せず、怒ることもありません。これは、アメリカの子どもの早い時期に自立し、親も子どものことを信頼しているからだと思えます。私の目からも、彼らはとても自分の行動に責任を持っていることがよくわかりました。

同じ高校生でも、外見もびっくりするほど大人っぽく、学校へ平気でお化粧やピアスなどのアクセサリをしてきたりしています。私は、中学校に行った時「十五歳に見える」と言われ、すごく子どもっぽく見られてしまいました。最初は「この人たちは高校生のくせに、ふけているなあ」と思っていたけれど、日がたつにつれて、自分の外見も考え方もガキだということに気がきました。

シエルビービルに行つて一番感じたことは、学校へ行つても、スーパーへ行つても、私に親切にしてくれたことです。向こうの人が



浴衣姿も大切な文化の交流です

急速に進む国際化の中で、海外旅行を 楽しむ人や日本を訪れる外国人の数も年々、増えています。 私たちの富士川町でも、海外の人たちと気軽にふれあいができるようになればいいですね。

らみれば私は外人ですから、一瞬、驚いた顔をしますが、すぐ笑顔で「Hi」と言ってくれました。彼らの言っていることは、あまり聞きとれなかったけど、「Hi」の一言で私は救われたような気持ちになりました。日本では、街で外人さんと会うと「ほら、見て、外人だよ。外人」などと言って、遠い所から指を差してしまうけれど、その行為はすごく失礼なこと。今度、静岡などで外人さんに会ったら、思いきって「Hi」と言いたいと思います。

私は、完璧には英語は話せませんが、ほとんど単語しか言えなかったけど、ホストの人はそれを一生懸命に聞いてくれました。そして、私に話をする時、すごくゆっくり話してくれました。その中で、私はずかしく思ったことは、日本に住んでいて自分の国のことを全然、知らないということです。ですから、もっと日本のことを知り、英語を学び、近いうちにも一度シエルビービルを訪れ、お互いの町の交流関係を強くしたいと思っています。

二週間のホームステイを通じて、色々な事を学ぶことができました。日本の長所や短所を知ることができました。この貴重な体験を、ここからの生活に役立てていきたいと思っています。

保健だより (保健婦から)

保健センターをご利用ください

富士川町の健康づくりの拠点として、平成元年四月一日から保健センターがオープンしました。

あかちゃんからお年寄りまで、きめ細かな健康づくりを推進するため、成人病予防・母子保健・予防接種など、幅広い事業を行っています。

オープンして五カ月がすぎ、多くのみなさんに利用していただいています。が、まだまだ、保健センターの存在を知らない方も多いようです。はじめの頃は病院と間違えて、診察を受けに來たり、保健センターを蒲原病院の健康診断センターと思い、蒲原病院へ行つてしまった事などがありました。

そのため、この頃では「役場の裏の保健センターですから、お間違いのないように」という一言を添えるようにしています。現在、事務所の中には三人しかいません。建物が広々として恐

富士川町と富士の見える町ー 富士川町の明日を考えるシンポジウム

9月16日、中央公民館講議室において、地域環境計画研究所(塩坂邦雄理事長)の主催で『富士川町の明日を考えるシンポジウム』が開催されました。会場には90人の町民が集まり、自由討論では将来の富士川町について活発な意見交換が行われ、これからも色々な意味でのシンポジウムが必要ということ、幕を閉じました。



富士川町の未来には何が必要なのでしょう

いような、寂しいような気持ちになりますので、みなさんも気軽に保健センターを訪れ、私たちとコミュニケーションを深めましょう。

保健センターには常時、保健婦がいますので、健康についての相談などがありましたら、気軽におこしください。そして、多くのみなさんに利用していただき、自分自身の健康づくりに役立

富士川短歌会(天野徳二先生選) 九月詠草

専らちてなほ紅を残しつつ
水に沈める水蓮の花
五十年を相凌ぎ来し老吾等を
祝いくる子等の花東面はゆき
吹奏楽のコンクールに栄冠を得し孫に
今宵我が家は湧きに湧きたり
拉致されて奇跡の如く帰来し
夫十年の命なりに
健康に勝るものなし百十歳の
人生は重しと察長は稱ふ
蜂の来る朝光強き段畑に
蜂恐れつつ柵を切りて納むる
雷鳴の遠く聞ゆるこの夜更
定めなき身を思ひめぐらす
夕暮るる路地に自閉症の児は
ひとり居の姉臥す部屋に白百合は
雌蕊を残しこぼれ散るなり
さまざまに思ひ疲れて吾が伏せる
部屋に差ししる青き月光
少女期と賢く我と係れり
名取りとなりてもつまじき君
笹舟の如く見えたる露草の
葉元より朝露光りて落ちぬ
明時の青田の道を白鷺の
歩みに合わせ車徐行す
盆帰りしたる娘等戻りゆき
夫と二人て花火を仰ぐ
アメリカを一人旅行の孫娘に
一言ずつの深夜の電話
どしゃぶりに電車のりつき吾も来ぬ
民次の絵の前むきむきに立つ

焼津	天野 徳二
相生町	川口 久代
小池	中川しな子
上町	望月 晴子
宮町	若月 幸江
四十九町	塩川 恒子
相生町	望月 侑子
舟山町	望月 八代
四十九町	入月 弘子
宮町	池田 てい
富士見町	佐野いそ江
東町一	宮崎 祥子
本通三	桐谷 静子
清水町	深沢 幸江
相生町	藤沼 満
相生町	長谷川ゆり子

8月の交通事故

人身事故	10件(5)	合計25件(12)
物損事故	15件(7)	
富士川身延線	9件(5)	
国道一号线	6件(2)	
町道	7件(5)	
県道	3件(0)	
その他	0件(0)	

()は昨年

戸籍の窓

平成元年8・15～9・15届出分

おめでた(敬称略)

区名	氏名	保護者	続柄
相生町	清水光子	文夫	二女
吉津	鮎川友香	恵章	長女
坂下	望月大地	金吾	三男
新町	望月 涉	一	二男
四ノ町	渡辺剛紀	武安	長男
大楽窪	渡邊いづほ	久志	長女
東町一	飯田伊代	昌則	二女
南町二	小林拓矢	章文	二男
八幡町	清水将太	照美	二男
中野台	谷口敏基	文男	長男
大北町	宇佐美静香	勝也	長女
俣下町	望月祐哉	広信	長男

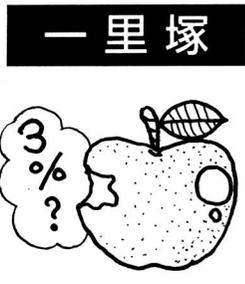
かなしみ

区名	氏名	年齢
相生町	時田 勇	八八
坂下	加藤 むな	八四
堺町	齋藤 みち	八七
宮町	岡田 由助	六九
小池	木本 弘	五四

町への寄付金

社会福祉事業へ
 百万円 角替美美子(木島)
 百万円 日本軽金属㈱
 高齡者対策基金へ
 百万円 森中俊雄(新町本町)
 蒲原製造所

百万円 市川たみ子(南町一)
 障害者福祉事業へ
 百万円 斉賀圭子(小山)
 社会福祉事業寄付金
 三万百円 富士川町民生児童
 委員協議会
 十一万六千円
 イハラケミカル労働組合



先日、生活用品の買物をした際、レジで「○○○円のお買いあげになります」と言われ一瞬、「?」となった。すぐ

お母さんの“知恵袋”

「おやつはカルシウムで」

カルシウムは骨格を強くしますが、それ以外にも、情緒不安定を解消する働きがあります。この大切なカルシウムは食品から摂取するのが一番の近道ですから、発育盛りの子どものおやつに、ぜひおすすめしたいものです。そこで、家庭でも簡単に作れるおやつを紹介します。酢につけた大豆に

ハチミツをかけ、レーズンや小魚をのせてゴマをふれば出来上り。栄養のバランスも最高だし、酢大豆だけより、ずっとおいしいです。ちよっと変っていますが、子どもたちには、かえって新鮮で喜ばれるかもしれません。小魚の煮干し、骨せんべい、昆布、牛乳などの食品も、おやつに最適。

税負担に苦慮しているようである。

消費税を福祉財源にという考えもあるようだが、福祉を必要としている人は、担税能力のない人達である。消費税は均等ではあるが、公平には課税されない。まして、生活用品にも課税されると、私達のいだけ痛税感日は増しに増えていく。今後、どう変わっていくのだろう、消費税は。

に、消費税分3%の上乗せかと思いたったのだが、ちまたでも同様の混乱が続いているようである。又、政府内部でも、見直し議論が行なわれているようである。

行政需要が高まれば、それに伴い必要となる経費は、税金に求める以外にない。行政需要の一つに福祉がある。かつて、高福祉と税負担は、シーソーにたとえられていた。福祉先進国の北欧では、重い

(藤谷)

